

事業概要票

事例NO. 48（平成22年度発表）

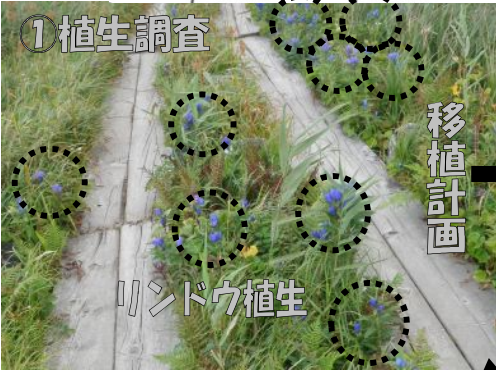
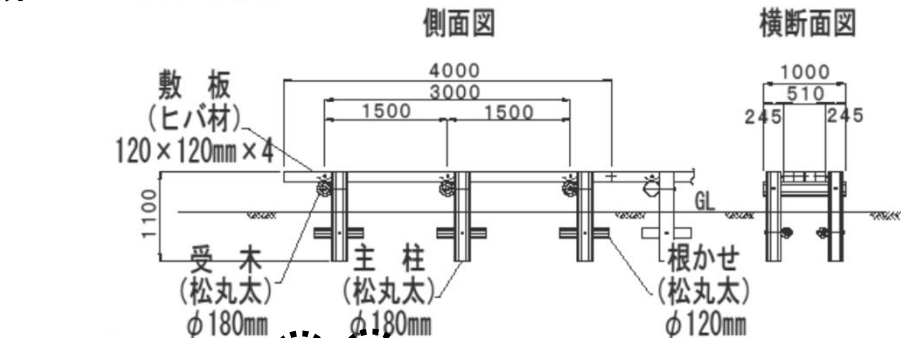
事例キーワード

- ・景観に馴染む資材の採用
- ・環境に配慮した施工

事業名		自然環境整備交付金事業 祓川歩道（園路）改修工事		・景観に馴染む資材の採用 ・環境に配慮した施工	
事業担当機関		秋田県生活環境部自然保護課			
事業期間		平成21年度～平成22年度			
実施場所		由利本荘市矢島町祓川			
事業概要	全体事業費	30百万円			
	工事概要	木歩道工 L=360m（180m×2列）			
	事業の目的	祓川地域は鳥海国立公園内にある鳥海山の5合目に位置し、休憩所や歩道が整備され登山の重要な拠点である。 老朽化した既存構造物の再整備を実施し、自然公園利用者の安全性、利便性の確保を図る。			
環境配慮の内容	【自然公園の整備事業】 1 自然と人との共存 ・工事の影響範囲を最小とするため、既存歩道の線形を極力利用する計画とした。 ・周辺の環境に配慮したデザインの採用に努めた。 ・植生調査を行い施工中に影響を受ける植物の移植を行った。 2 環境への負荷の少ない循環を基調とした社会の構築 ・工事で発生した撤去材等の建設副産物を地区内で再利用した。 3 地球環境保全への積極的な取り組み ・工事の実施に当たっては人力施工とし、二酸化炭素排出量を減らすよう配慮した。 ・省資源、省コストに配慮し、生産加工に伴う負荷が小さい木材を活用した。				
施工後の状況	・既存歩道と同じ線形を採用したことにより、工事の影響がほとんど見られない。 ・木材の使用により、周辺景観に馴染んでいる。 ・表面に滑り止め加工したことにより、利用者に対する安全面が向上した。 ・施設にかかる範囲の自生植物を移植して施工したため、植生への影響が少ない。				
図面、写真、説明		<div><p>改修前の歩道状況</p><p>改修工事後の状況</p></div>			

図面、写真、説明

【木歩道構造】



歩道改修工事の現場作業は人力で実施！

